

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- 抗酸菌同定(質量分析法) :項目コード 8085

受託開始日

平成30年7月2日(月)受託分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面をご参照ください。



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
8085	抗酸菌同定 (質量分析法)	菌株 (専用輸送容器)	抗酸菌用培地 常温	質量分析法 (MALDI-TOF-MS:マトリックス 支援レーザー脱離イオン化飛 行時間型質量分析法)		2~8 日	361 微生物	*ア
		生検体 (培養陽性時実施)	滅菌容器 冷蔵					

検査場所: 保健科学 第2ラボラトリー(略称:*ア)

▼ 臨床的意義

結核はマラリア、エイズと並んで世界の3大感染症といわれており、わが国では2016年の結核罹患率が13.9(10万人対)で漸減傾向であるものの、年間約1,800人以上が死亡する感染症です。その一方で、非結核性抗酸菌症は漸増しており、2014年の推定罹患率は14.7(10万人対)程度、推定有病率は33~65(10万人対)と報告されています。

抗酸菌検出のための検査法は大きく分けて、(1)塗抹検査、(2)培養・同定検査、(3)遺伝子検査があり、PCR法やDDH法(DNA-DNAハイブリダイゼーション法)などによる遺伝子検査も多く用いられています。しかし、これら遺伝子検査を用いても現在約170種類いる抗酸菌のうちDDH法による18菌種しか同定することができません。

本検査法は、質量分析法(MALDI-TOF MS:マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析法)を用いた微生物同定検査であり、160種類の抗酸菌を同定することが可能であり、16SrRNA 遺伝子解析との相関性も高く、菌種レベルにおける一致率は91.7%、属レベルでの一致率は100%と精度の高い検査法になります。

▼ 抗酸菌核酸同定(DDH法)との比較

	DDH法	質量分析法
所要日数	3~10日	2~8日
同定可能菌種	18種	160種
保険点数	410	361

▼ 検査方法参考文献

日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会 編:抗酸菌検査ガイド2016 南江堂 2016